



平成 25 年8月2日

各 位

会 社 名 アクモス株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 飯島秀幸
(JASDAQ コード 6888)
問 合 せ 先 執行役員 経営企画室長 中川智章
(TEL 03-5217-3121)

中期経営計画策定のお知らせ

当社は、第23期(2014年6月期)を初年度とする第25期(2016年6月期)までの中期経営計画を策定し、平成25年8月2日開催の取締役会において、中期経営計画を承認いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1.中期経営計画の概要

(1)当社グループ事業の特長

当社グループは、社会インフラシステムを中核に、私達の生活を支える一般企業、製造業のお客様向けに、ITソリューションとITサービスをご提供しております。

(2)今後の事業環境予測

現在、当社グループ事業の中核をなす社会インフラシステムは、老朽化に伴う更新需要が高まっております。更新に伴い、各分野でのシステム連携やスマート化など、新技術対応の取組みが具体的に進められようとしており、当社にとっては好機を迎えていると考えております。

また、情報サービス市場構造の「所有」から「利用」へのシフトに伴う、クラウドサービスの事業規模拡大とともに、急速に普及が進むスマートデバイスの個人ユースからビジネスユースへの移行が見込まれており、このような時流に適応したITソリューションのニーズが高まることを予測しております。

(3)中期経営計画の位置づけ

第23期からの3ヵ年を、再生から成長、創造への3年間と位置づけ、この3ヵ年でサービス価値の向上を図り、持続的・創造的イノベーションを可能とする事業基盤を構築するとともに、安定収益の確保を目指します。

(4)経営目標(定量目標)

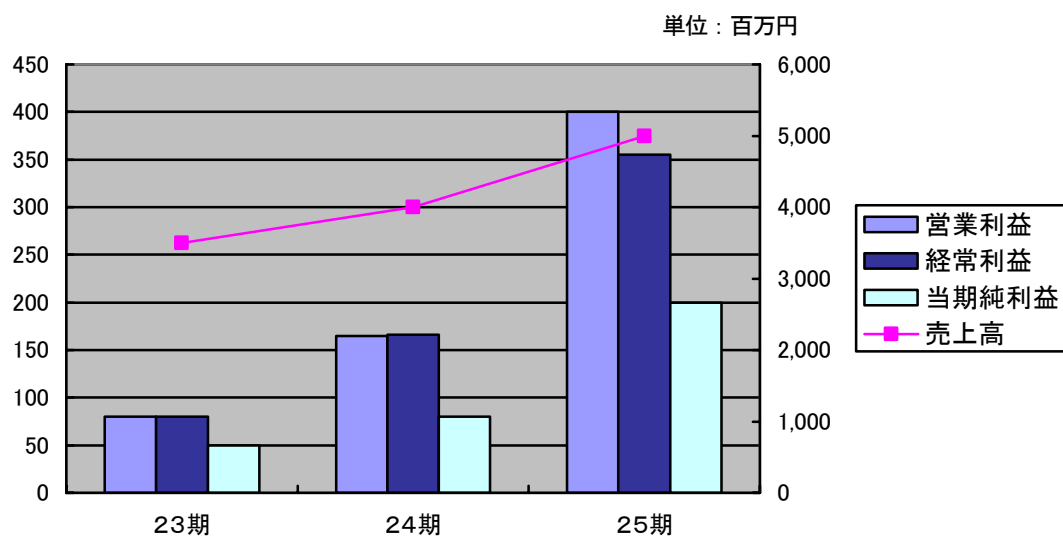
経営目標を営業利益重視で編成し、3年後の売上高50億円、営業利益4億円を目指します。

	第23期(2014年6月期) 計画	第24期(2015年6月期) 計画	第25期(2016年6月期) 計画
売上高	3,500百万円	4,000百万円	5,000百万円
営業利益	80百万円	165百万円	400百万円
経常利益	80百万円	166百万円	355百万円
当期純利益	50百万円	80百万円	200百万円

経営目標は、経営環境の変化に対応するため、向こう3年間の目標数値をを每期見直すローリング方式を採用しております。

(注)本資料に含まれる将来の計画に関する記載は、本資料の発表日現在において、入手可能な情報及び過程に基づき作成しており、実際の業績は様々な要因により計画と異なる場合があります。

■3カ年経営目標推移■



(5)基本方針(定性目標)

- ①専門性強化、成長分野の取り込みにより、事業の進化を図る
 - ・ 既存事業の絞り込みと集中による専門性強化
 - ・ 成長分野の取り込みを行い、時流適応型事業を創出
 - ・ グループ会社間の事業・営業連携を強化し、サービスを拡大
- ②人財力・技術力アップにより、サービス価値の向上を目指す
 - ・ 「個」の成長により、プロフェッショナルな集団を目指す
 - ・ アクモスブランド『SYMPROBUS』事業の展開
- ③お客様の事業の成功に貢献し、安定的収益力を確保
 - ・ 「〇〇ならアクモス」と指名されるパートナーとなり、収益基盤を強化
 - ・ 安定的収益力を確保し、株主・社員への還元、将来事業への投資

本中期経営計画の詳細につきましては、次ページ以降をご参照ください。

以 上

(注)本資料に含まれる将来の計画に関する記載は、本資料の発表日現在において、入手可能な情報及び過程に基づき作成しており、実際の業績は様々な要因により計画と異なる場合があります。



アクモス 株式会社

アクモスグループ 中期経営計画

2013年8月2日
アクモス株式会社



目次

1. 当社グループの特長・業績トレンド

2. 今後の事業環境予測

3. 中期経営計画(2013/07~2016/06)

4. 事業戦略



アクモス 株式会社















当社グループの特長 業績トレンド



アクモスグループ事業の特長

社会インフラシステムを支える ITソリューション&ITサービス

社会インフラシステムを中核に、私達の生活を支える一般企業、製造業のお客様向けにITソリューション&ITサービスを提供

ITソリューション		ITサービス	
システム開発	構築・運用保守	BPO・情報処理	IT製品の検証
情報系・製造系システム、 地図(GIS)ソリューション	ネットワーク構築、クラウド	マークシート・アンケート集計、 入力処理、事務局代行	規格認証、第三者検証、 ユーザビリティ
SYMPROBUS (消防通信指令、スマートデバイスソリューション)			
ガス 	電力 	通信 	学校 
宇宙 	ダム 	一般企業 	
交通 	上下水 	行政 	
消防、警察・警備  		医療 	
メーカー (製造業) 			

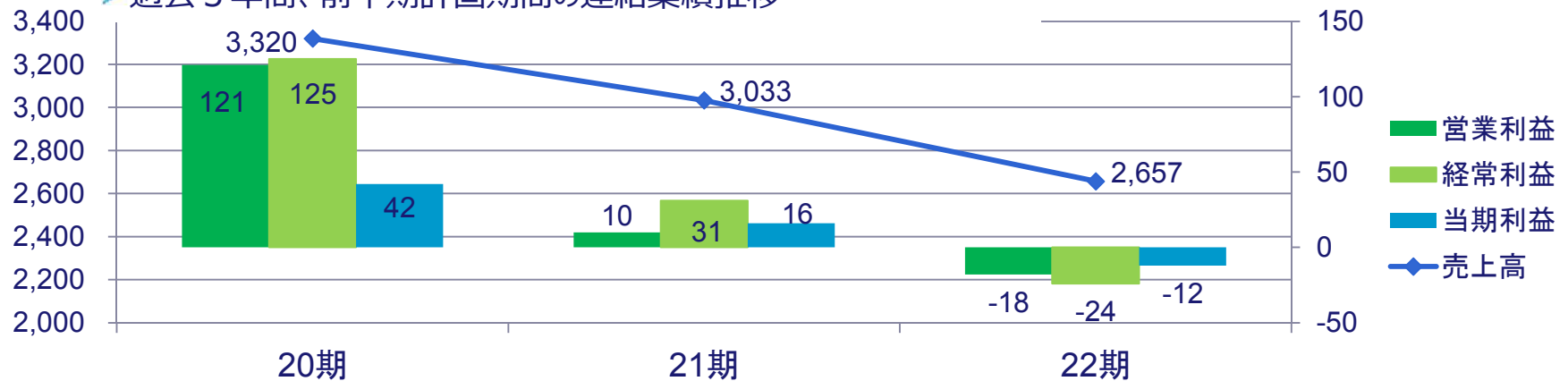


業績トレンド

減収減益下でも3期連続配当実現

20期の期中に発生した東日本大震災の影響は、21期以降の業績に現れ、自社ブランド事業の先行投資と重なり、減収減益傾向続く。配当については3期連続で実施

▶過去3年間、前中期計画期間の連結業績推移



前中期計画 基本方針		実施状況
グループ連携でサービスの質を向上	△	システム運用でワンストップサービス提供
グループ間の営業連携強化	△	ITソリューション事業の一部で実施
安定収益の確保	×	減収の影響が大きく、安定的収益を確保できず
持続的な株主還元	○	3期連続配当を実現
人財力の強化	△	奨励金を活用した技術研修導入、社内での資格勉強会を実施
アクモスブランドの創出	○	SI製品ブランド『SYMPROBUS』を発表し、Fシリーズ(消防通信指令システム)リリース



アクモス 株式会社

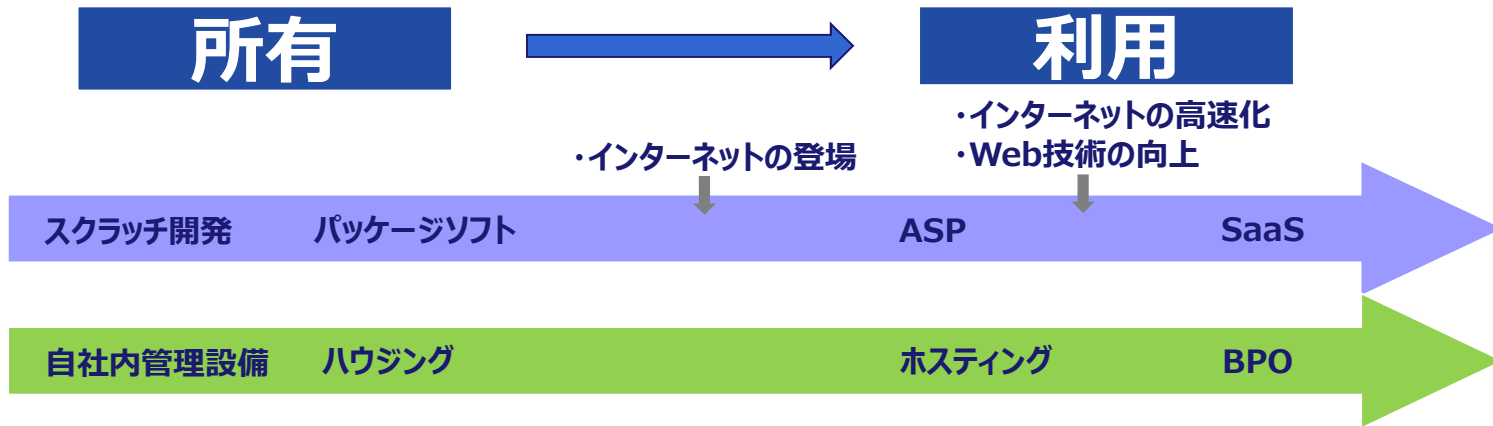
今後の事業環境予測



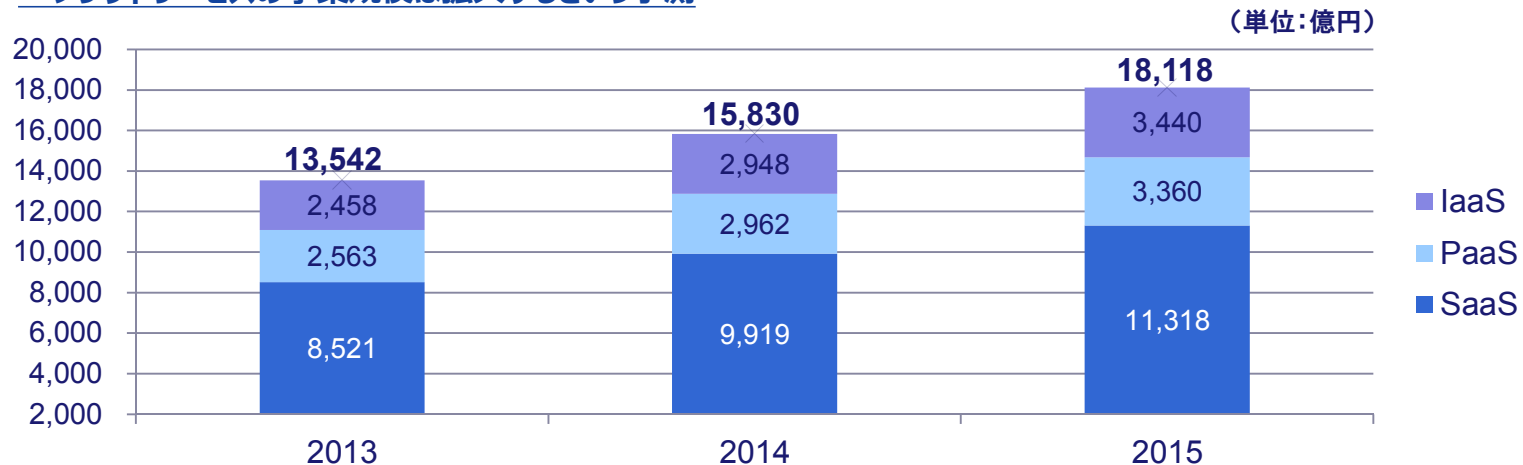
所有から利用へ

所有から利用へのシフト

市場構造が「作る」から「使う」へシフト。
ITサービス分野の成長をクラウドが牽引すると予測されている



■クラウドサービスの事業規模は拡大するという予測

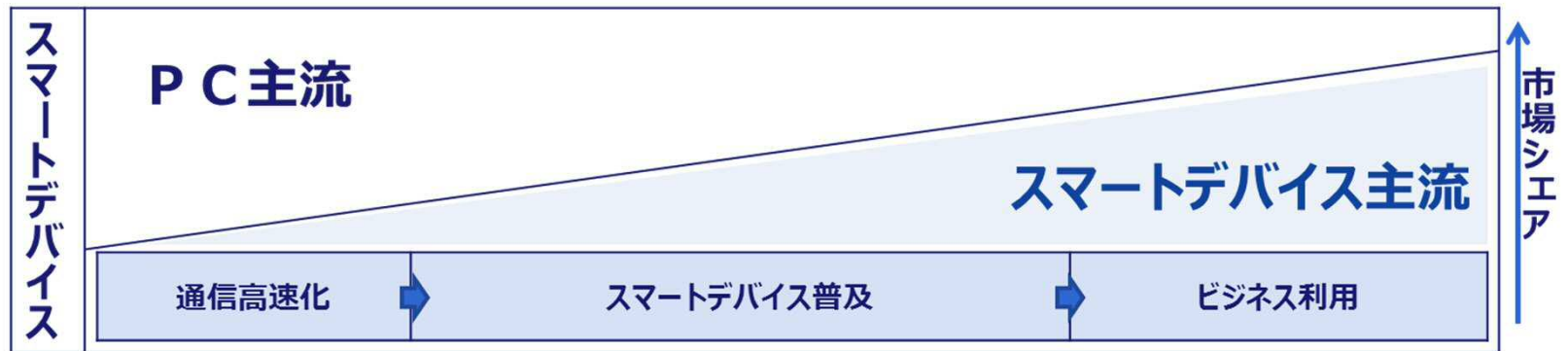




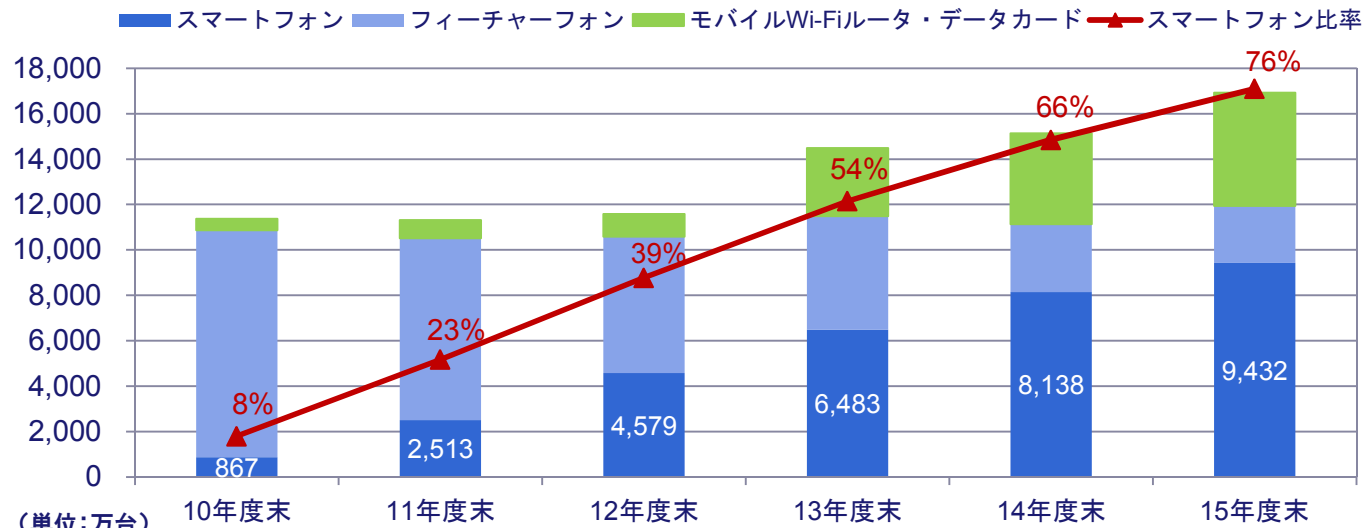
スマートデバイスの普及

主流はPCからスマートデバイスへ

通信の高速化や無線LAN環境の拡大によって、スマートデバイスは急速な普及が進んでおり、
今後は、個人ユースからビジネスユースへと移行することが見込まれる



■スマートフォン等 普及台数の推計



2015年度末の予測を、
2010年度末の数値と比べると、
スマートフォン普及台数は約10倍

モバイルWi-Fiの伸び率は年に
20%増で推移



個人ユースから ビジネスユースへ

(単位:万台)

出所: 総務省 無線LANビジネス研究会 2012年7月『移动通信トラヒックの将来動向』

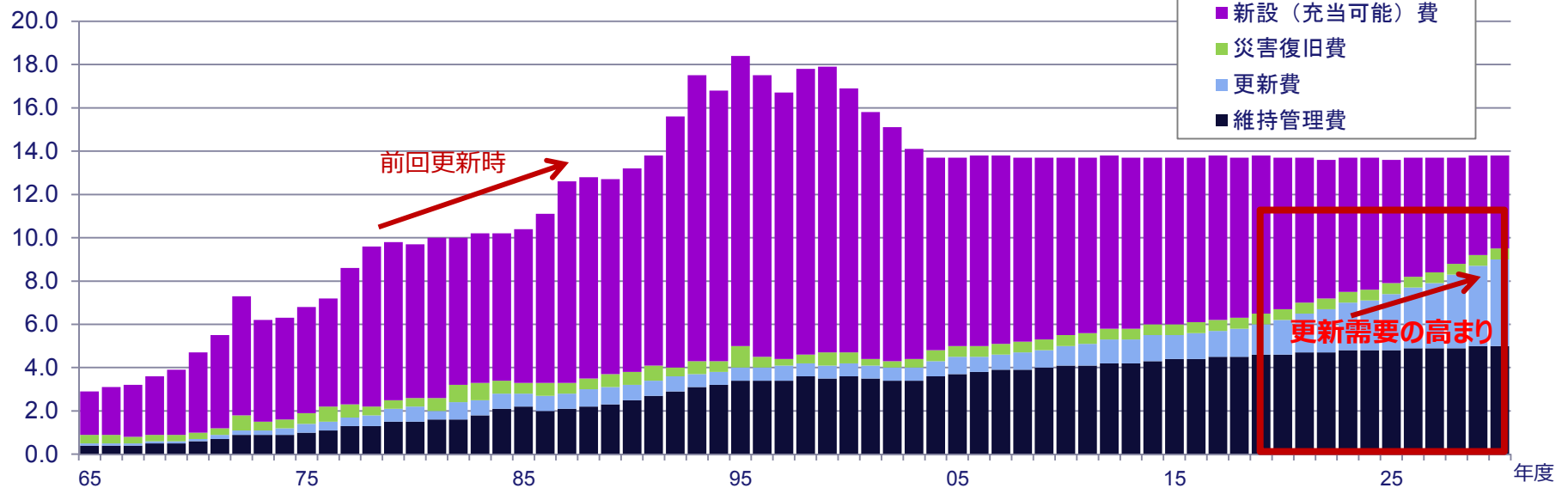
社会インフラシステムの重要性

社会インフラシステム老朽化に伴う更新需要、新技術対応の取組みが進む

- ・老朽化に伴う更新、ICT技術による社会インフラシステムのスマート化の推進による需要の高まり
- ・交通関連やセキュリティ・防災関連、医療関連など、各分野でのシステム連携、スマート化への取組みが具体化

社会インフラシステム	
エネルギー関連	HEMS、BEMS
交通関連	充電インフラシステム、信号制御システム、街路灯システム
流通・リテール関連	デジタルサイネージシステム、POSシステム、電子棚札システム
セキュリティ・防災関連	ホームセキュリティシステム、ビルセキュリティシステム、公共セキュリティシステム
医療・ヘルスケア関連	電子カルテシステム、地域医療連携システム、KIOSK健診システム

投資額：兆円





アクモス 株式会社

中期経営計画 (2013/07～2016/06)



基本コンセプト

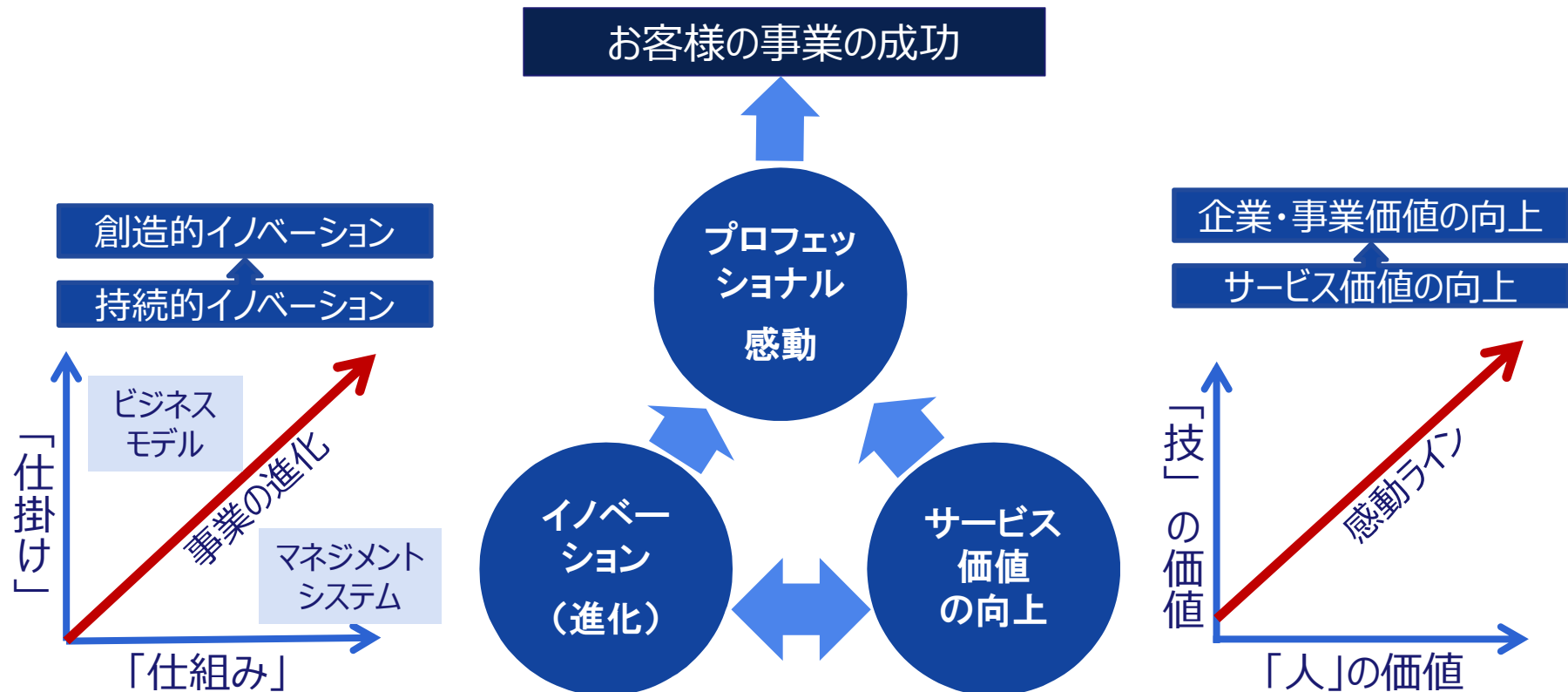
経営理念

「私たちアクモスグループは、お客様に感動していただけるプロフェッショナルなサービスを提供いたします。」

当社グループの中期経営計画のコンセプト

イノベーションの軸 ◆ 「仕掛け」と「仕組み」の進化による持続的、創造的イノベーションの実現

サービス価値の軸 ◆ 「技」と「人」の価値を高めることによるサービス価値、企業・事業価値向上の実現





スローガン

再生から成長、創造へ



◆キーワード

専門性
既存事業の強化

時流適応
新規事業創出

収益力強化
営業利益率8%を目指す



基本方針（定性目標）

1. 専門性強化、成長分野の取り込みにより、事業の進化を図る

- 既存事業の絞り込みと集中による専門性強化
- 成長分野の取り込みを行い、時流適応型事業を創出
- グループ会社間の事業・営業連携を強化し、サービスを拡大

2. 人財力・技術力アップにより、サービス価値の向上を目指す

- 「個」の成長により、プロフェッショナルな集団を目指す
- アクモスブランド『SYMPROBUS』事業の展開

3. お客様の事業の成功に貢献し、安定的収益力を確保

- 「〇〇ならアクモス」と指名されるパートナーとなり、収益基盤を強化
- 安定的収益力を確保し、株主・社員への還元、将来事業への投資



経営目標（数値目標）

■ 2016年6月期目標 売上50億円、営業利益4億円

単位：百万円

	2014年6月期	2015年6月期	2016年6月期
売上高	3,500	4,000	5,000
ITソリューション※	3,530	3,850	4,620
ITサービス※	460	560	700
営業利益	80	165	400
経常利益	80	166	355
当期利益	50	80	200

※セグメントの売上高は連結相殺前の数値となっております



利益配分方針

安定的な期末配当の継続を目指す

第22期の期末配当は1株当たり100円、第23期の期末配当予想は1株当たり1円
(※2013年7月1日付で株式分割を実施し、1株を100分割しております)

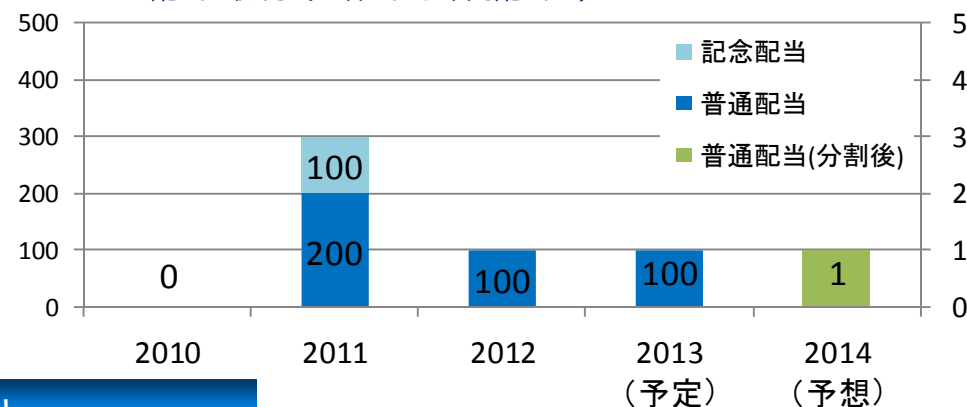
配当政策

当社は、株主の皆様に対する安定的な配当の実現を、中長期的な重点課題として位置づけております。

【利益配分に関する基本方針】

- ・配当原資確保のための収益力向上を図る
- ・財政基盤の強化に努める
- ・単体当期純利益に対する配当性向30%を目標に連結業績と内部留保を勘案し、配当を行う

配当の状況（1株当たり年間配当金）



株式分割実施、単元株制度導入のお知らせ

平成19年11月27日に全国証券取引所が公表した「売買単位の集約に向けた行動計画」の趣旨を踏まえ、当社株式を上場している証券市場の利便性・流動性の向上に資するため、2013年7月1日付で、1株を100株に分割するとともに、当社株式の売買単位を100株とするため、1単元の株式数を100株とする単元株制度を採用いたしました。



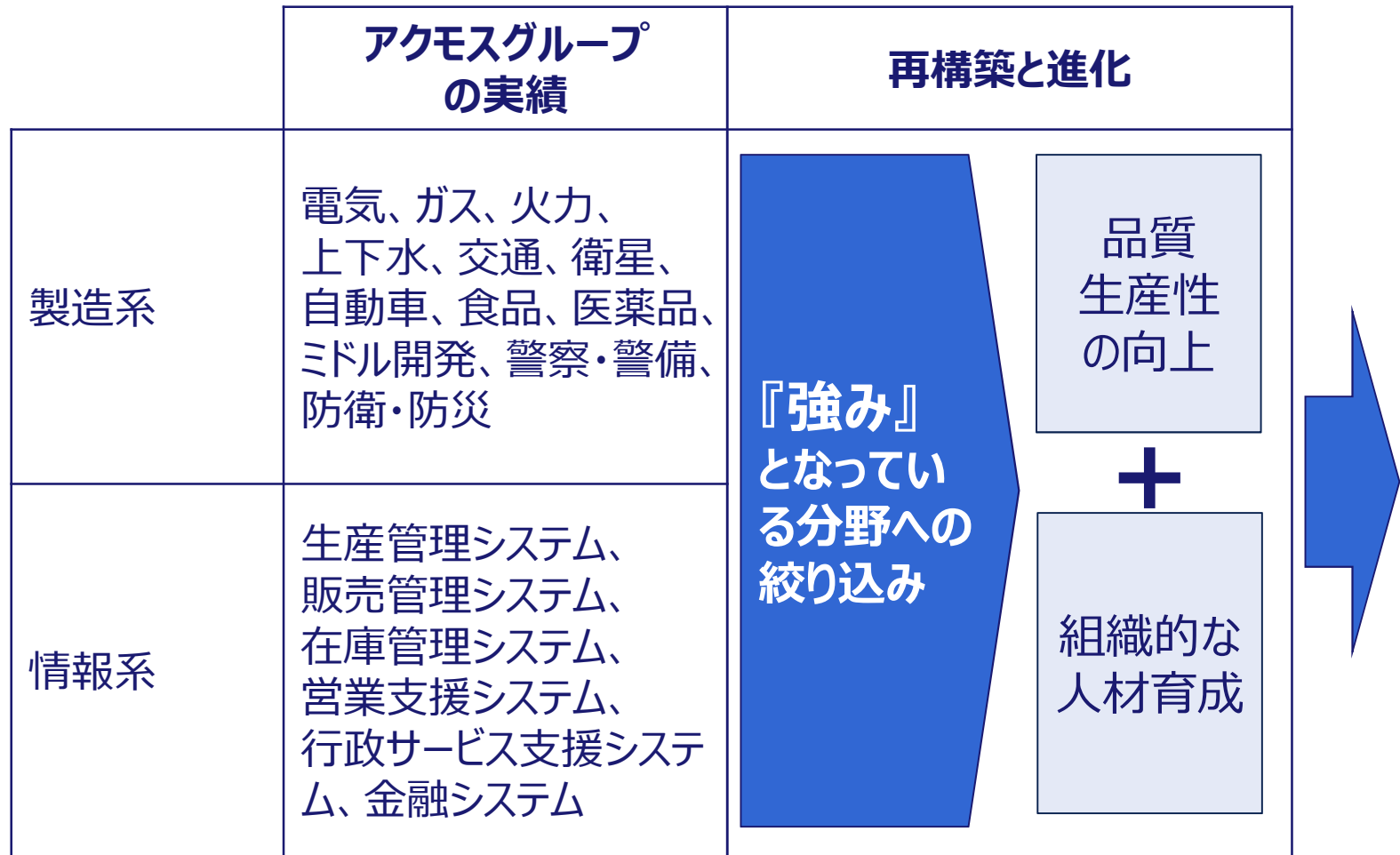
アクモス 株式会社

事業戦略



PSP（プロフェッショナル・サービス・プロバイダー）としての専門性強化

「〇〇ならアクモスグループ」とお客様に指名される存在へ



専門性強化



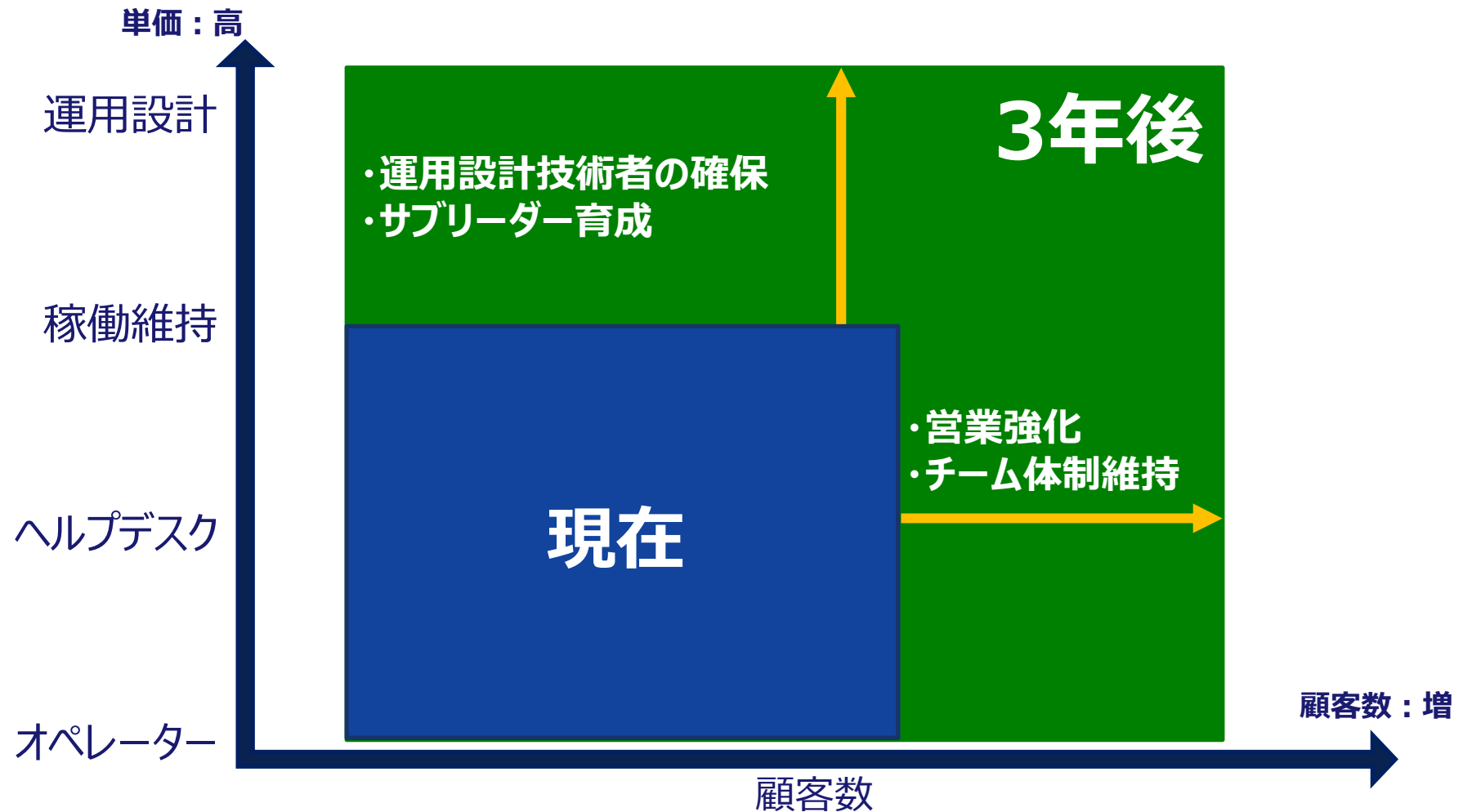
既存システムソリューションの強化と、新たなソリューションの創出・事業化へ

消防通信指令システムソリューション	既存 Fシリーズ	受注確保	N倍化ビジネスへ
	新規	新ソリューションの検討・開発	製品化
地図GIS情報システムソリューション	新規	既存サービスのパッケージ化	
		消防GISの開発	製品化
		モバイルGISの開発	製品化
		クラウドGISの開発	製品化



運用・構築分野の拡大

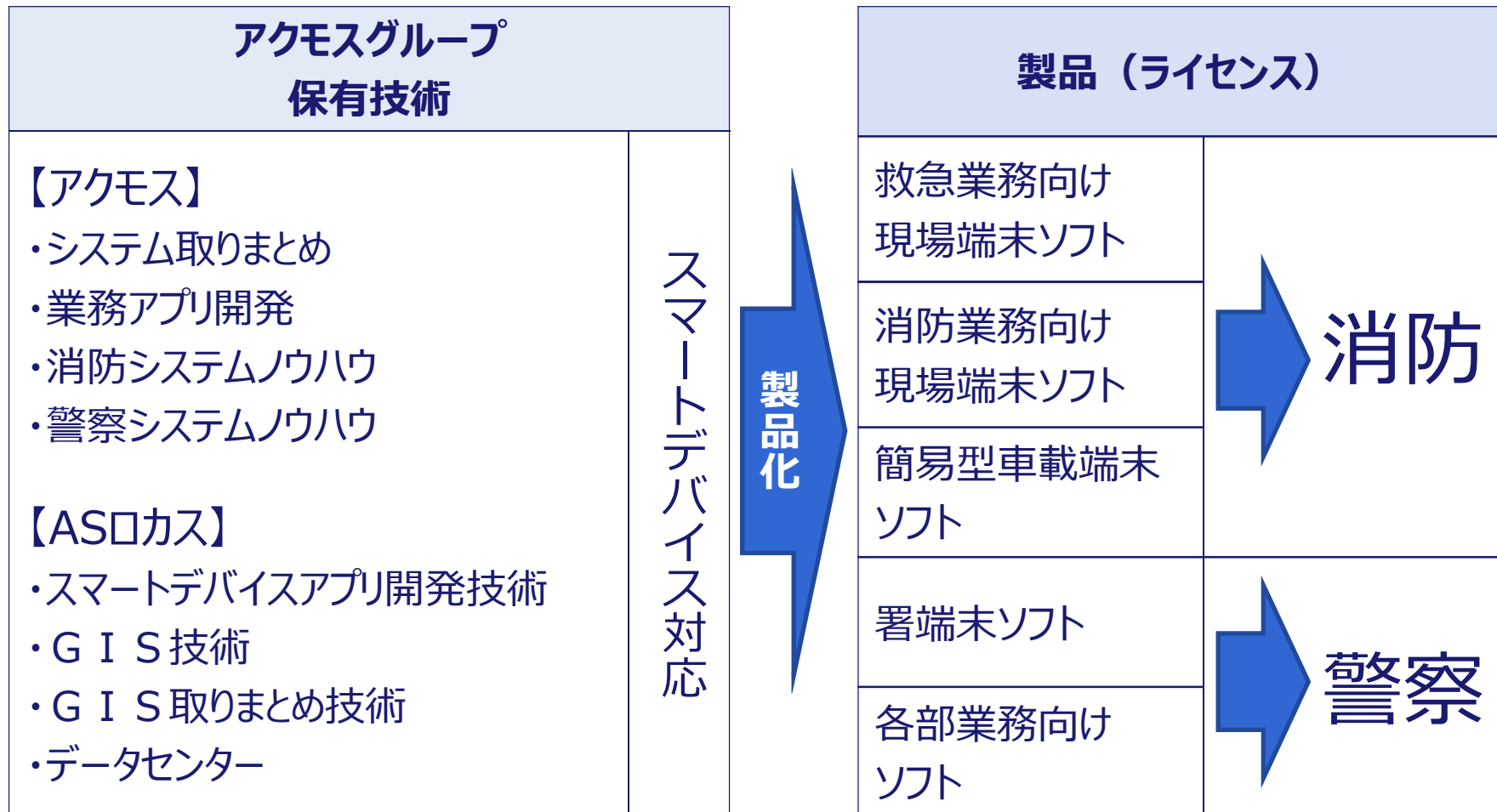
単価 UP サービス価値を高め	×	顧客数 UP お客様を増やす	=	運用・構築分野の売上拡大
--------------------	---	-------------------	---	--------------





アクモスグループの保有技術を結集し、スマートデバイス対応製品を開発・展開へ

アクモス株式会社 システムインテグレーション + A S Oカス株式会社 G I Sソリューション





お客様のIT最適化・収益事業等に結びつく「クラウド運用サービス」を創出

・組織横断的な推進グループ設置

・大手ベンダーとの協業により
最適なサービス利用環境の提供

・クラウド運用代行サービスに
特化したITサービスマネジメントの
標準化

クラウド運用サービスの展開

既存のお客様

システムリプレース時の
提案・利用推進

お客様内の横展開にて
提案・共同利用推進

新規のお客様

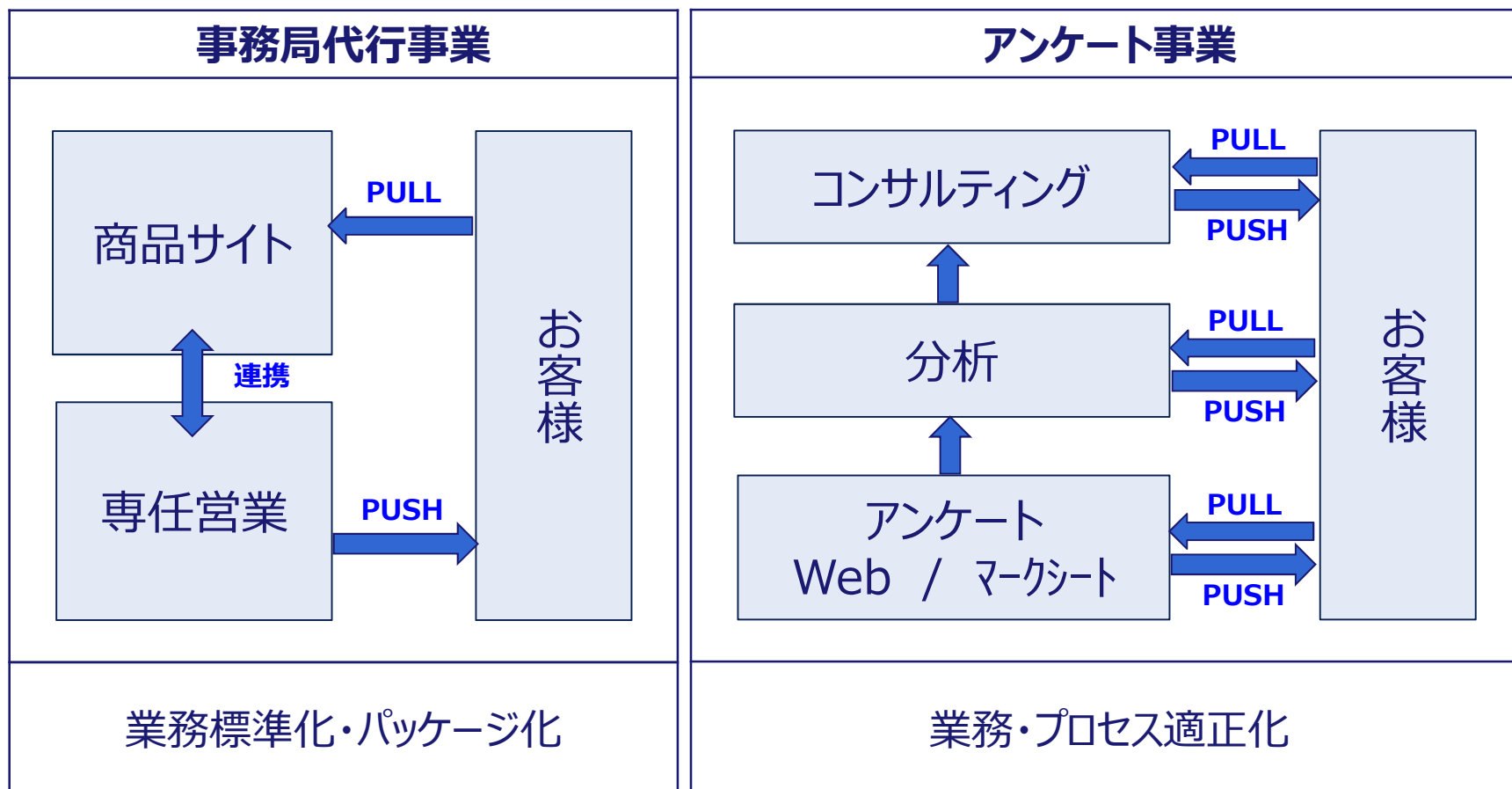
官公庁への
提案・利用推進

民間への
提案・利用推進



事務局代行事業、アンケート事業の進化

- ・お客様の多様な情報処理・アウトソーシングニーズに対応し、真のパートナーシップを確立
- ・営業戦略 Web活用によるPULL型 + 専任営業担当によるPUSH型





- ・黒字化と収益基盤の安定化
- ・導入期の規格認証に関連サービスを組み合わせ成長につなげる

<主なサービス別ライフサイクル>

導入期	成長期	成熟期	衰退期
USB3.0	DLNA		
ECHONET Lite			
	無線LAN検証		USB2.0

無線LAN検証サービス

- ・独立系第三者検証機関として無線LAN製品の検証サービスを推進

お客様の無線LAN対応製品

動作検証
相互接続検証

- ・他社アクセスポイント
- ・PCルーター
- ・クライアント機器

ECHONET Lite規格関連サービス

- ・ECHONET Liteは、日本国内のHEMS標準プロトコルとして経済産業省に認定(2011年12月)株式会社エクスカで提供中のサービス

規格適合性認証

自己認証テスト・認証仕様書作成支援

相互接続検証

■ 本資料について ■

本資料に記載されている将来の見通しなどについては、本資料の発表日時点で入手可能な情報に基づいて作成されたものです。今後、当社を取り巻く内外の経済情勢、業界動向、需給関係等の変化にともない、業績見通しが変更される可能性があります。

また、本資料は、当社の株式購入など投資を勧誘する目的で作成されたものではありません。

なお、本資料の将来の見通しについての記述に関しましては、法令上その手続きが必要となる場合を除き、事前の予告なく変更する場合がございますので、予めご了承ください。

アクモス株式会社

経営企画室 TEL : 03-5217-3123